事業計画書

設立初年度

法人名	特定非営利活動法人 地域未来中間支援ネットワーク
対象事業年度	法人成立の日から令和 9 年 3 月 31 日まで

基本方針

設立初年度は、法人の運営体制と会計処理を整え、子ども・家庭を支える地域活動、市民活動団体への中間支援、地域交流及び人材育成を開始します。設立から年度末までの期間を踏まえ、既存の地域資源とボランティアの協力を生かし、無理のない規模で実施します。

実施する事業

事業	内容	実施時期・規模の目安
子ども食堂及び地域食堂の運営支援	池田市内の子ども食堂・地域食堂等を訪問し、運営上の困りごとや必要な支援を聞き取ります。情報発信、物資・人材・協力先の紹介など、各団体の希望に応じた支援につなげます。	期間中に１０団体程度への訪問・聞き取りを目安に実施。対象や方法は各団体と調整します。
市民活動団体、非営利団体地域団体及び事業者に対する中間支援	地域活動団体からの相談を受け、団体運営、活動の周知、助成金情報、関係機関との連携等について情報提供や伴走支援を行います。必要に応じて適切な相談機関につなぎます。	相談受付を随時行い、期間中に 3 件程度の相談対応を目安とします。
地域企業及び地域事業者の経営、連携並びに地域貢献活動に関する支援	商店会、地域団体、子ども食堂等と協議し、子どもや住民が参加しやすい交流の機会を企画します。イシバシレンジャー等の地域活動も活用し、地域への関心と世代間交流を促します。地域企業及び地域事業者から相談を受け、聞き取りを通じて、販路開拓、広報、人材確保、事業者間の連携、地域貢献活動などの課題やニーズを整理します。相談内容に応じて、商工会、行政の相談窓口、専門機関等の支援情報を提供し、必要な支援先につなぎます。また、地域企業・事業者同士や、子ども食堂等の地域団体との交流・連携を調整し、商品・サービスの周知や地域貢献活動につながる機会をつくります。相談後も必要に応じて状況を確認し、継続的な連携を支援します。	相談は随時受け付け、期間中に 3 件程度の相談対応を目安とします。相談内容に応じて支援機関への紹介や事業者間の連携調整を行い、期間中に 1 回程度、地域企業・事業者と地域団体との交流・連携の機会を設けます。
ボランティアの育成及び派遣	子ども食堂等への訪問・アンケート調査により学生ボランティアの受け入れ希望を把握し、学生の募集、マッチング、事前説明及び開催日に合わせたボランティア手続き支援をします。 １、 派遣先：池田市内の子ども食堂・地域イベント等 ２、 募集方法：ホームページ、SNS、学校、関係団体等を通じた募集。 ３、 派遣方法：受け入れ希望と参加者希望者の条件を確認し、双方の意向を踏まえて調整。 ４、 育成・支援：事前説明、活動中の連絡調整、活動後の振り返りを実施。	設立初年度に説明・オリエンテーションを 1 回程度実施。受け入れ希望団体と調整し、可能な範囲で学生ボランティア手続き支援を行う。
地域活動に関する情報提供及び広報	地域の支援ニーズや活動団体の課題を把握し、個人が特定されない形で活動情報を整理してホームページ、SNS、広報誌等で発信します。	活動情報を随時発信し、年度末に実施状況と今後の課題を整理します。

実施体制・運営

理事会等で事業の進捗を確認し、事業ごとに担当者を定めます。実施記録、相談記録、会計帳簿を整備し、個人情報と子どもの安全に配慮します。行政、企業、学校、NPO、商店会その他の団体との連携は、相手方の合意を得てから実施します。

計画上の留意事項

各事業の実施回数・対象数は計画上の目安です。設立日、予算、協力先及び実施体制を確認し、設立総会で承認する活動予算書と整合させて実施します。障害児通所支援及び保育所の設置・運営は、本計画期間に実施を決定していないため計上していません。

事業計画書

設立２年度

法人名	特定非営利活動法人 地域未来中間支援ネットワーク
対象事業年度	令和 9 年 4 月 1 日から令和 10 年 3 月 31 日まで

基本方針

設立初年度の実施状況と参加者・連携先の意見を振り返り、子ども・家庭支援、地域活動団体への中間支援、地域交流及び人材育成を継続・改善します。支援先との対話を重ね、活動の必要性と成果を確認しながら、予算と人員に見合う範囲で事業を広げます。

実施する事業

事業	内容	実施時期・規模の目安
子ども食堂及び地域食堂の運営支援	子ども食堂・地域食堂等の運営者と定期的に情報交換し、運営課題の把握、活動周知、必要な人材・物資・協力先の紹介を行います。団体同士の情報共有の機会も設けます。	池田市内の１６団体程度との連携・情報交換を目安とし、年 4 回程度の訪問・聞き取りを行います。
市民活動団体、非営利団体地域団体及び事業者に対する中間支援	団体運営、会計、広報、助成金活用、行政・企業等との連携に関する相談を受け、必要な情報提供と伴走支援を行います。対応後は相談者の同意を得て支援状況を記録し、継続課題を確認します。	年間 12 件程度の相談対応を目安とし、随時受付を行います。
地域企業及び地域事業者の経営、連携並びに地域貢献活動に関する支援	商店会、地域団体、子ども食堂等と協議し、子どもや住民が参加しやすい交流の機会を企画します。イシバシレンジャー等の地域活動も活用し、地域への関心と世代間交流を促します。地域企業及び地域事業者から相談を受け、聞き取りを通じて、販路開拓、広報、人材確保、事業者間の連携、地域貢献活動などの課題やニーズを整理します。相談内容に応じて、商工会、行政の相談窓口、専門機関等の支援情報を提供し、必要な支援先につなぎます。また、地域企業・事業者同士や、子ども食堂等の地域団体との交流・連携を調整し、商品・サービスの周知や地域貢献活動につながる機会をつくります。相談後も必要に応じて状況を確認し、継続的な連携を支援します。	関係者の合意、会場、予算及び安全体制を確保したうえで、年間 5 回程度の企画実施を目指します。
ボランティアの育成及び派遣	学生や地域住民を対象に、地域活動の役割や安全配慮を学ぶ機会を設けます。活動先の希望を確認したうえで、子ども食堂や地域交流事業等への参加につなぎます。 子ども食堂等への訪問・アンケート調査により学生ボランティアの受け入れ希望を把握し、学生の募集、マッチング、事前説明及び開催日に合わせたボランティア手続き支援をします。 １、 派遣先：池田市内の子ども食堂・地域イベント等 ２、 募集方法：ホームページ、SNS、学校、関係団体等を通じた募集。 ３、 派遣方法：受け入れ希望と参加者希望者の条件を確認し、双方の意向を踏まえて調整。 ４、 育成・支援：事前説明、活動中の連絡調整、活動後の振り返りを実施。	説明・研修を年間 2 回程度実施し、延べ 10 人から２０人程度の参加を目安とします。

事業	内容	実施時期・規模の目安
地域活動に関する情報提供及び広報	支援先や参加者の意見を集め、地域活動の課題と取り組みを整理します。個人情報に配慮しホームページ、SNS、広報誌等で活動報告や情報発信を行い、地域内の協力者・支援者を増やします。	活動情報を随時発信し、年度末に年間実績、課題及び次年度への改善点をまとめます。

実施体制・運営

事業ごとに責任者と記録方法を定め、定期的に進捗と予算執行を確認します。子どもの安全、参加者の個人情報保護、ボランティア保険等の必要性を事業ごとに確認します。連携先の名称は、相手方の了承を得てから広報物等に掲載します。

計画上の留意事項

記載した回数・人数は計画上の目安です。設立初年度の実績、助成金・補助金等の採択状況、活動予算書及び協力先との調整を踏まえて実施規模を決定します。障害児通所支援及び保育所の設置・運営は、本計画期間に実施を決定していないため計上していません。